



# 春日部東中学校だより



学校教育目標「夢と生きる力を育む」

夢をもつ生徒・感謝できる生徒・意欲のある生徒・協力し合う生徒・責任を果たす生徒

## 季節を愛でるように ～育むということ～ 校長 三浦 力

梅雨の晴れ間は、陽ざしが痛いほど強く、外で活動していると顔は赤くなるほど日焼けしています。そんな中、学校総合体育大会が行われました。どの部もこれまで積み上げた成果を存分に発揮し、活躍を見せてくれました。県大会へ出場する皆さんには、春日部市の代表として更なる活躍を期待しています。



いよいよ7月。「文月」は「七夕月」とも呼ばれ、織姫と彦星が年に一度再開し、お互いが愛して逢う月ということから「愛逢月(めであいづき)」とも呼ばれます。19日に終業式を迎え、20日から夏季休業も控えています。季節を感じながら日々を大事に過ごしてほしいと願います。

さて、授業を参観する機会に「先生はしゃべりすぎる」と感じる場合があります。「待つことこそ大切なんじゃないか」。自分の経験を振り返ると、授業に自信のないときほどしゃべりすぎてしまいます。自分に余裕がないから焦ります。自分自身に力のないことを知っているから、補おうと、次から次へと言葉を並べます。同じ言葉を繰り返します。時に、子どもの思考を止めるほどしゃべってしまいます。何かを信じてじっと待つことは何と難しいことか、若き日の自分を思い出します。

先日、ある出張先で教え子に会い、大学の卒業論文に中学時代の先生について書いたと言われました。また別の教え子からは手紙をもらい「都内の公立中学校で教員をしている」、「教務として教育課程を推進するため苦労している」など、頑張っている様子が書かれていました。文末には、当時の私の学級経営や生徒との接し方、教師が子供に与える力、一緒に走ったこと、勉強した数学について書いてありました。上手に伝えることができなくて悔やんだ日もたくさんありましたが、何年も経ってから褒められて嬉しくなりました。

子どもを育てるということは、人生の大仕事。一朝一夕に事は進展しません。それでも信じる。待つ。だって春の次に夏が来ることも、冬が終われば待ち遠しい春がやってくることも、私たちは何度も何度も経験してきました。だから、学校でもご家庭でも信じて待つことを忘れてはなりません。何もしないということではありません。来たる日に備えるということです。「季節を愛でるように」育むということです。大人には度量がなければならぬ。子どもの上を行かなければなりません。ちゃんと見てよ、と無言のメッセージを送りながら。幼い頃、共働きの母が「暑い一日頑張ったねえ」と、買い物帰りに足を止めた夏の夕刻が忘れられません。その日、どんなことがあったのか、どんな会話をしたのかも思い出せないのに、夏の橙色の太陽が頬に焼き付いています。「季節を愛でる」心には、人を育てる心と通じるものがあるのかもしれない。日本という国で、四季の移ろいを感じ、明日を信じて人を育てることの醍醐味をじっくりと味わいましょう。これは、親業だけではない。教職にある者も同じ。子どもを信じて、明日を信じて、進んでいきましょう。

今後とも東中学校の教育活動に多大なるご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

日	月	火	水	木	金	土
	1 T日課 期末テスト① 完全下校14:00	2 T日課 期末テスト② 完全下校16:15	3 専門委員会	4 3年卒業アルバム用 部活写真撮影①	5	6
7	8	9 表彰朝会 3年卒業アルバム用 部活写真撮影②	10 3年卒業アルバム用 部活写真撮影③	11 第1回進路説明会 (3年)	12 5時間授業 2学年保護者会	13 資源回収日
14	15 海の日	16 4時間授業	17 4時間授業 給食終了	18 3時間授業 大掃除	19 1学期終業式 ふれあいデー	20
21	22 夏季休業日 全校面談日①	23 全校面談日②	24 全校面談日③	25 全校面談日④	26 全校面談日⑤	27
28	29 全校面談日⑥	30 全校面談日⑦	31			



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10 資源回収日 学校閉庁日
11 学校閉庁日	12 山の日 学校閉庁日	13 学校閉庁日	14 学校閉庁日	15 学校閉庁日	16 学校閉庁日	17
18	19	20	21 ふれあいデー	22	23	24
25	26	27	28 新人戦(水泳)	29 2学期始業式 部活再登校	30 3時間授業 避難訓練	31

### 学割の申請

夏休み中に帰省されるなど、学割を希望される方は早めに担任の先生にお申し出ください。

### ☀️ 1学期もあと少し・・・🌧️

夏季休業中は家庭で過ごす時間が長くなります。外出時のルールや1日の生活時間など、ぜひ、お子様と話し合う機会を設けてください。

有意義な休暇にしましょう。